

目標（10）

ハーモニーを奏でる 快適な都市空間をつくります



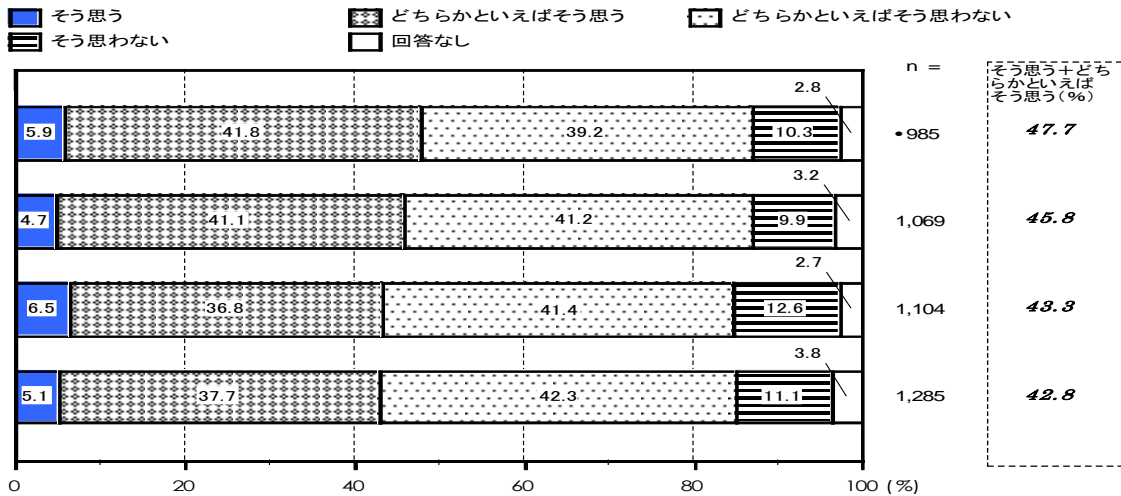
▲上空から高浜市東部地区・北部地区を臨む

I. 目標と目標の達成状況

1. 目指す姿	
目標達成に向けての考え方	住み続けたいと思える快適さとやすらぎのあるまちづくりのために、その骨格となる交通網、良質な住環境や充実したライフラインなど、都市を形成するそれぞれの要素を調和（ハーモニー）させていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 安心して楽しく暮らせる住環境、ライフラインの整備が推進されています。 ◇ 誰もが日常生活において、スムーズに移動できる環境づくりが行われています。 ◇ 地域資源を活かした魅力あふれる景観が形成され、まちに対する愛着や誇りが高まっています。

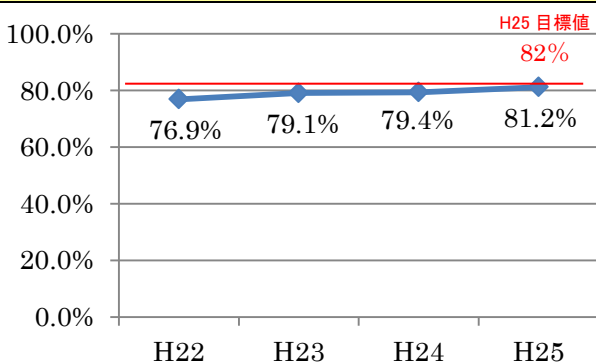
2. 市民意識調査結果

【設問】調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う

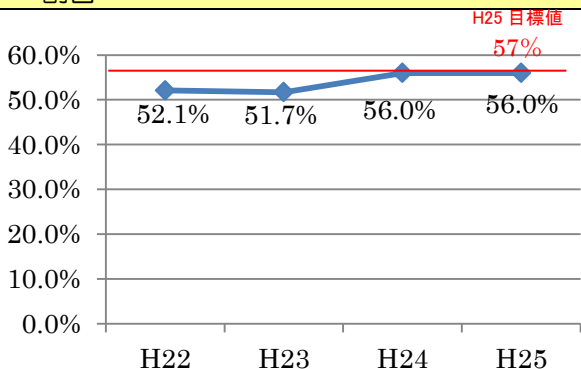


3. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 長く住み続けたいと思う人の割合



2) 歩きやすい、運転しやすいと感じている人の割合



4. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する現状分析（要因・課題等）

- ◆ 総合計画によって展開されている様々な事務事業の取組みに加えて、安心して快適な生活の要件である水道事業の水道管の耐震化、下水道事業（汚水）の使用区域の拡大等の取組み等が計画的に進んでいるため、計画策定時から指標 1 は 4.3%アップ、指標 2 は 3.9%アップ、市民意識調査は 4.9%アップと、それぞれ目標値に向かって順調に上昇した。
- ◆ しかし、現在事業を進めている、国道 419 号、市道港線等の道路事業は、事業期間が中長期にわたるため、短期期間での効果が現れにくいと考えられる。

II. 目標達成のための主な取組み

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
★衣浦大橋東交差点の立体化により、交通の円滑化と安全対策の向上を進めます。	①愛知県知立建設事務所の発注により、橋台・橋脚・桁製作などの工事が進められた。	H23.4 ～H26.3
	②衣浦豊田道路建設推進協議会（6市：高浜・豊田・碧南・刈谷・安城・知立）において、国・県へ事業予算の確保と早期完了を要望した。	H23.4 ～H26.3
	③高浜市の未来を創る市民会議において、立体橋の桁色のアンケートを実施し、「黄土色」に決定した。	H24.9
☆「高浜市都市計画マスタープラン」に基づき、地域の特性に応じた土地利用や魅力ある景観づくりを進めます。	①市街化区域における未利用地の調査を行った。	H23.4 ～H24.3
	②都市計画道路の未整備区間についての調査を行った。	H23.4 ～H24.3
	③新たな工業用地の創出に向けた調査・検討を行った。	H24.10～ H26.3
☆安心して快適な住環境やライフラインの整備を進めます。	①耐水管の入れ替えといった水道施設の近代化や、汚水管の整備を進めた。	H23.4～ H26.3
☆安全・快適・便利に移動できるよう交通網を整えとともに、公共交通の利用も促進します	①いきいき号刈谷豊田総合病院直行便を開通した。	H23.7
	②市道港線の整備に向けて、測量・設計・調査や用地取得、物件補償を行った。	H23.9～ H26.3
	③いきいき号コース見直し（停留所の増設）を行った。	H24.4

III. 課題と今後の取組みの方向性

課題	今後の取組みの方向性
①長期的な視点と国・県等との連携 ・事業完了までには長期を要する。また、事業推進には、市単独では困難であり、国・県・関係機関との連携が欠かせない。	◇ 国・県等の関係機関と連携しながら整備を進める。 ◇ 市の財政状況を踏まえ、計画的に整備を進める。
②長寿命化に向けた取組み ・安全で快適に道路を利用できるよう、適切に維持管理を行う必要がある。	◇ 安全性の徹底調査・点検を踏まえて長寿命化対策計画を策定し、「点検→診断→措置→記録」といったメンテナンスサイクルを確立する。
③行政バスの広域利用の促進 ・衣浦定住自立圏共生ビジョンに基づく公共交通のあり方について検討する。	◇ 刈谷・知立・高浜・東浦の各市町の拠点間を結ぶバス創設について、研究を行う。

IV. 第 6 次高浜市総合計画推進会議 コメント